



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ヒラノテクシード 上場取引所 東
コード番号 6245 URL <https://www.hirano-tec.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡田薫
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員コーポレート (氏名) 原昌史
部門管掌 TEL 0745-57-0681
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第3四半期	25,673	△34.1	1,745	△4.6	1,841	△11.0	1,365	△9.2
2025年3月期第3四半期	38,972	12.3	1,830	△30.7	2,067	△24.6	1,504	△21.8

（注）包括利益 2026年3月期第3四半期 2,216百万円（21.6％） 2025年3月期第3四半期 1,821百万円（△24.7％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	90.25	—
2025年3月期第3四半期	99.50	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第3四半期	58,964	39,161	66.4
2025年3月期	61,693	38,240	62.0

（参考）自己資本 2026年3月期第3四半期 39,161百万円 2025年3月期 38,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2026年3月期	—	42.00	—		
2026年3月期（予想）				42.00	84.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	31,000	△35.9	2,100	24.9	2,000	5.6	1,600	76.6	105.82

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	15,394,379株	2025年3月期	15,394,379株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	256,328株	2025年3月期	270,183株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	15,131,168株	2025年3月期3Q	15,118,740株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから4ページの「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(追加情報)	11
3. 補足情報	12
生産、受注及び販売の実績	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き旺盛なインバウンド需要と、雇用・所得環境の改善及び各種政策等を背景に、個人消費は緩やかな回復をみせております。企業については、収益改善の期待から設備投資においてもA I 基盤投資や省力化等業務効率化のためのデジタル化等のD X投資を中心に、底堅く推移しております。

一方で、依然として物価上昇による消費者マインドの悪化により個人消費は持ち直し基調ながら力強さを欠く局面が続いております。また、企業業績においてはエネルギー価格や原材料価格の高止まり、円安傾向、株価の変動、景気先行きに対する不透明感が続いております。

世界経済においては、米国の関税政策による世界経済への影響が懸念されるとともに、中国においても、不動産市場の停滞が長期化しております。

また、ウクライナ及び中東情勢に伴う地政学的緊張が続くなど、国際情勢の不安定化が続いており、金融資本市場を含む世界的な先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当社グループにおきましては、『持続的な企業価値向上に向けた事業基盤の確立』を2025年度の新たなスローガンに掲げておりますが、北米におけるE V市場の減速により市況が大きく変化し、先行きが非常に厳しい状況でスタートしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は25,673百万円（前年同期比34.1%減）となり、利益面では営業利益は1,745百万円（前年同期比4.6%減）、経常利益は1,841百万円（前年同期比11.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,365百万円（前年同期比9.2%減）となりました。

E V市場の世界的な減速の影響により、機械装置への投資は減少いたしました。特に北米市場においては、米国の政策転換に伴いE V関連投資が大幅に縮小した結果、主要顧客による設備投資計画の見直しや投資時期の後ろ倒しが相次ぎました。

これにより、E V関連の機械装置の受注量が前年同期比で大きく減少したほか、付帯工事を含む周辺業務の案件数も大幅に縮小し、仕事量が減少したことにより当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同期を下回る結果となりました。一方で、利益におきましては、産業資材や人件費の高騰、納期の延期要請等に伴う保管場所や外注先確保の経費などが影響したものの、一部案件において受注条件の見直しが進んだことにより、利益の下振れが一定程度緩和されました。

また、顧客の設備投資計画の見直しにより、複数の案件において総額7,229百万円のキャンセルが発生した結果、当第3四半期連結累計期間末の受注残高は減少しております。なお、当該キャンセルに関しては、キャンセルに至るまでに当社が負担した準備費用及び作業費用、材料費用等については、契約条件に基づき回収可能であり、損益に大きな影響を与えることはありません。

その結果、当第3四半期連結累計期間における受注高は15,702百万円（前年同期比37.9%減）、受注残高は30,358百万円（前期末比36.2%減）となりました。

今後の見通しにつきましては、北米のE V市場関連の仕事量は限定的ではありますが、ディスプレイ関連の光学フィルム関連市場や電子部材関連市場が堅調に推移すると予想されます。

このような状況の中、当社グループといたしましては、納期管理や生産性向上の取組みを徹底し、更なる生産効率を高めてまいります。また、北米市場における投資停滞の長期化リスクを踏まえ、アジアなどの他の地域における受注活動を積極的に展開するとともに、新規開拓及びアフターサービスを含め、様々な市場へも積極的な受注活動を行い、利益水準の向上に努め、中長期での成長を目指してまいります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(塗工機関連機器)

当セグメントは、北米における付帯工事は比較的堅調に推移し、ディスプレイ関連の光学フィルム加工向け装置の売上高が好調に推移したものの、E V市場の世界的な減速の影響により、売上高は20,460百万円（前年同期比39.7%減）となりました。うち国内は4,237百万円（前年同期比354.1%増）、輸出は16,222百万円（前年同期比50.8%減）となりました。利益面におきましては、一部案件において受注条件の見直しが進んだことにより、セグメント利益は2,353百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

受注残高につきましては、22,038百万円（前期末比45.4%減）、うち国内は6,230百万円（前期末比15.0%増）、輸出は15,808百万円（前期末比54.7%減）となりました。

(化工機関連機器)

当セグメントは、中心となる電子材料関連の成膜装置の売上高が低調となったものの、産業資材等の生産が増加したことにより、売上高は4,067百万円（前年同期比7.3%増）となりました。うち国内は1,810百万円（前年同期比16.4%減）、輸出は2,256百万円（前年同期比38.9%増）となりました。利益面におきましては、前期に発生した一部案件における顧客との仕様決定及び機械装置の調整に伴うコストが解消したこともあり、セグメント利益は710百万円（前年同期比292.0%増）となりました。

受注残高につきましては、7,917百万円（前期末比21.2%増）、うち国内は1,747百万円（前期末比11.9%減）、輸出は6,169百万円（前期末比35.7%増）となりました。

(その他)

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造などを行っております。

売上高は1,146百万円（前年同期比8.0%減）となり、売上の減少に加え、原価の上昇や販管費の増加により、セグメント利益は0百万円（前年同期比99.8%減）となりました。

受注残高につきましては、402百万円（前期末比41.9%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ4,198百万円減少し、44,307百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が1,664百万円、売上債権及び契約資産が663百万円、前渡金が1,033百万円、その他に含まれる未収消費税が1,048百万円それぞれ減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1,469百万円増加し、14,657百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が327百万円、投資その他の資産が1,220百万円それぞれ増加したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ4,165百万円減少し、18,339百万円となりました。その主な要因は、前受金が830百万円増加したこと及び仕入債務が2,843百万円、短期借入金が1,850百万円それぞれ減少したことによります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ516百万円増加し、1,463百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が144百万円、その他に含まれる繰延税金負債が352百万円それぞれ増加したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ920百万円増加し、39,161百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,365百万円計上し、その他有価証券評価差額金が903百万円増加したこと及び配当金を1,316百万円支払ったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の通期見通しにつきましては、北米市場を中心とした外部環境の変化により売上高を引き下げております。一方、当社グループでは、プロジェクト遂行体制の見直し、原価管理の徹底、業務プロセスの効率化を進めており、利益面では前回予想を上回る見込みであります。また、工事進行に伴う費用回収の適正化も寄与し、利益水準が改善する見込みであります。当社グループといたしましては、短期的な市場変動には柔軟に対応しつつ、中長期的な収益基盤強化を見据えた経営を継続してまいります。

2026年3月期の業績予想につきましては、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに、次のとおりに変更しております。詳細は本日公表の『2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ』をご覧ください。

売上高31,000百万円、営業利益2,100百万円、経常利益2,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,600百万円

また、当社が販売する塗工機関連機器及び化工機関連機器等は受注生産であり、顧客の指定納期や発注時期も様々であります。よって各四半期において売上高及び受注高が同水準とならない場合があります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,755,531	10,091,378
受取手形、売掛金及び契約資産	31,024,785	29,714,682
電子記録債権	602,915	1,249,747
仕掛品	123,415	207,367
有価証券	—	100,000
原材料及び貯蔵品	310,363	172,975
前渡金	2,750,619	1,717,473
その他	1,962,474	1,084,879
貸倒引当金	△24,671	△31,385
流動資産合計	48,505,434	44,307,119
固定資産		
有形固定資産	7,437,414	7,764,781
無形固定資産	416,746	338,532
投資その他の資産		
投資有価証券	4,481,501	5,688,532
破産更生債権等	478,477	478,477
その他	852,192	866,003
貸倒引当金	△478,477	△478,477
投資その他の資産合計	5,333,693	6,554,536
固定資産合計	13,187,855	14,657,850
資産合計	61,693,290	58,964,969

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,163,114	5,812,013
電子記録債務	1,464,405	1,972,494
短期借入金	6,000,000	4,150,000
1年内返済予定の長期借入金	428,596	466,996
未払法人税等	341,012	242,598
前受金	2,209,161	3,039,957
賞与引当金	291,180	95,350
製品保証引当金	66,393	185,449
その他	2,541,646	2,375,099
流動負債合計	22,505,509	18,339,958
固定負債		
長期借入金	329,136	473,464
役員退職慰労引当金	64,990	76,735
退職給付に係る負債	433,706	436,518
資産除去債務	17,126	39,827
その他	102,280	437,062
固定負債合計	947,239	1,463,608
負債合計	23,452,749	19,803,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,398,360	1,403,105
利益剰余金	33,011,988	33,061,131
自己株式	△314,313	△297,893
株主資本合計	35,943,857	36,014,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,176,079	3,079,695
為替換算調整勘定	46,057	△9,102
退職給付に係る調整累計額	74,546	76,644
その他の包括利益累計額合計	2,296,682	3,147,237
純資産合計	38,240,540	39,161,402
負債純資産合計	61,693,290	58,964,969

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	38,972,690	25,673,865
売上原価	33,468,496	20,950,046
売上総利益	5,504,194	4,723,818
販売費及び一般管理費	3,674,110	2,978,437
営業利益	1,830,083	1,745,381
営業外収益		
受取利息	970	1,978
受取配当金	122,120	152,584
受取保険金	29,160	—
償却債権取立益	90,000	—
その他	63,352	34,147
営業外収益合計	305,603	188,710
営業外費用		
支払利息	57,602	58,109
固定資産除却損	7,974	34,211
その他	2,475	553
営業外費用合計	68,053	92,875
経常利益	2,067,634	1,841,217
特別損失		
投資有価証券売却損	7,369	—
特別損失合計	7,369	—
税金等調整前四半期純利益	2,060,264	1,841,217
法人税、住民税及び事業税	608,921	448,955
法人税等調整額	△53,018	26,724
法人税等合計	555,903	475,679
四半期純利益	1,504,361	1,365,537
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,504,361	1,365,537

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,504,361	1,365,537
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	316,311	903,615
為替換算調整勘定	△6,033	△55,159
退職給付に係る調整額	7,287	2,098
その他の包括利益合計	317,566	850,554
四半期包括利益	1,821,927	2,216,091
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,821,927	2,216,091
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント			合計
	塗工機関連機器	化工機関連機器	その他	
売上高				
一時点で移転される財	5,768	21,457	759,404	786,630
一定期間にわたり移転される財	33,929,937	3,769,260	486,861	38,186,059
顧客との契約から生じる収益	33,935,706	3,790,718	1,246,266	38,972,690
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	33,935,706	3,790,718	1,246,266	38,972,690
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	33,935,706	3,790,718	1,246,266	38,972,690
セグメント利益	2,455,340	181,275	250,094	2,886,709

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,886,709
全社費用(注)	△1,056,625
四半期連結損益計算書の営業利益	1,830,083

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	塗工機関連機器	化工機関連機器	その他	
売上高				
一時点で移転される財	9,846	28,573	788,668	827,087
一定期間にわたり移転される財	20,450,338	4,038,721	357,668	24,846,778
顧客との契約から生じる収益	20,460,234	4,067,294	1,146,336	25,673,865
その他の収益	—	—	—	—
外部顧客への売上高	20,460,234	4,067,294	1,146,336	25,673,865
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	20,460,234	4,067,294	1,146,336	25,673,865
セグメント利益	2,353,748	710,634	486	3,064,870

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	3,064,870
全社費用（注）	△1,319,488
四半期連結損益計算書の営業利益	1,745,381

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	609,573千円	613,744千円

(追加情報)

該当事項はありません。

3. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

① 生産実績

当第3四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高（千円）	前年同期比（％）
塗工機関連機器	16,812,823	△42.5
化工機関連機器	3,167,283	△5.4
その他	969,939	+12.1
合計	20,950,046	△37.4

（注）金額は生産原価で、上記には外注生産によるものも含んでおります。

② 受注実績

当第3四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高（千円）	前年同期比（％）	受注残高（千円）	前期末比（％）
塗工機関連機器	9,393,174	△54.9	22,038,685	△45.4
化工機関連機器	5,453,277	+58.4	7,917,515	+21.2
その他	856,289	△15.8	402,399	△41.9
合計	15,702,741	△37.9	30,358,600	△36.2

（注）1. 金額は販売価格によっております。

2. 塗工機関連機器につきましては、前期末受注残高に当四半期受注高・当四半期売上高を加減算した額が当四半期末受注残高に一致しておりません。これは、顧客の設備投資計画の見直しによるキャンセルに伴い受注残高より7,229,789千円を減額したことによります。

③ 販売実績

当第3四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高（千円）	前年同期比（％）
塗工機関連機器	20,460,234	△39.7
化工機関連機器	4,067,294	+7.3
その他	1,146,336	△8.0
合計	25,673,865	△34.1

（注）金額は販売価格によっております。